

# 市立伊丹病院の診療機能が充実

## 遺伝子診療センターと脳神経内科を新設

市立伊丹病院は、4月から遺伝子診療センターを、7月から脳神経内科を新設しました。診療機能を充実させ、これまで以上に地域医療に貢献していきます。問い合わせは市立伊丹病院 ☎777-3773へ。

### 遺伝子診療センター

◆遺伝子診療とは  
ゲノムは生物が持っている遺伝情報の全体を指す言葉ですが、個体のゲノム情報を調べて、その結果をもとに、より効果的に疾患の診断・治療・予防などを行うことを「遺伝子医療」といいます。

◆遺伝子診療センターの役割  
遺伝子に関する悩みや不安・疑問などを持つ人に対し、専門の医師や遺伝カウンセラーが科学的根拠に基づく正確な医学的情報を分かりやすく伝える部門として「遺伝子診療センター」を開設しました。

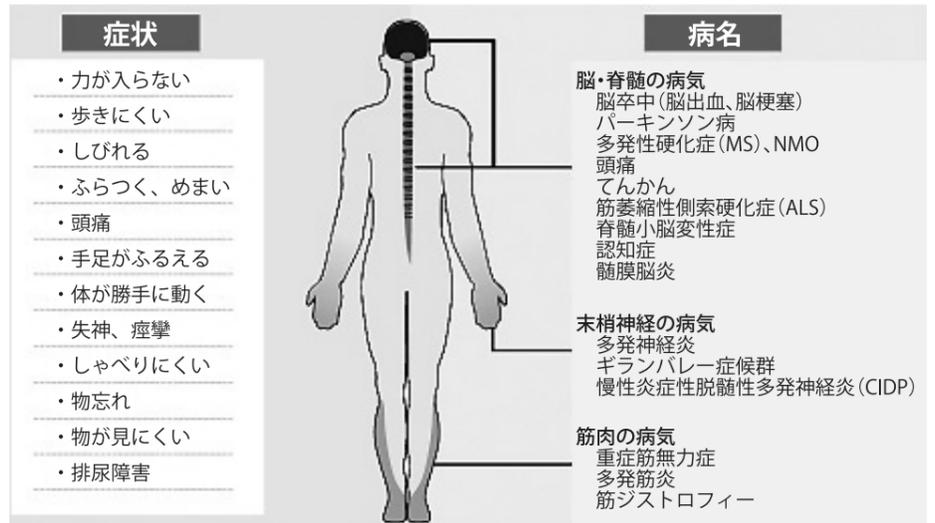
◆最もよく知られている遺伝性がんとして、遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)があります。HBOCの原因となる遺伝子の変異を親から引き継いだ場合、家系内に乳がんや卵巣がんなどのがんが発症しやすいといわれています。

◆遺伝子検査により、自身のがんの発症リスクを知ることや、がんの発症予防や早期発見、早期治療につなげることができます。



出典：がんゲノム情報管理センター「がんゲノム医療とがん遺伝子パネル検査」

図1 脳神経内科の病名と症状



出典：富山大学附属病院 脳神経内科ホームページ

### 脳神経内科

◆脳神経内科が行う診療  
脳神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診る内科です。病名としてはパーキンソン病、脳卒中、多発性硬化症、脳炎・髄膜炎、内科疾患に伴う脳症、認知症、末梢神経炎、てんかん、片頭痛、多発性筋炎など多岐にわたります。

◆専門医が適切な治療  
脳神経内科の外来診療は全て脳神経内科専門医が担当しており、正確な診断、適切な治療に努めています。まだ入院診療には対応できておらず、入院治療が必要な場合は近隣の病院にある脳神経内科と連携して対応します。

◆検査が必要な病気の場合は適切な科に紹介します。

◆また、神経疾患を持った人が他の病気で入院した場合、安心して治療を受けられるように脳神経内科医が一緒に治療に当たります。

◆脳神経内科新設後は脳神経疾患について、より専門的な診療ができるようになります。

## 新型コロナウイルスワクチン3・4回目接種を

市新型コロナウイルスコールセンター ☎764-7835(午前9時～午後7時半)

### ■改めてワクチン接種の検討を

若い世代であっても重症化や倦怠感などの症状が長引く可能性があります。若年層を中心に全国的に新規感染者の増加が見られることから、積極的な3回目接種の検討をお願いします。

また4回目接種の対象者は、3回目接種から5カ月以上経過した①60歳以上②18歳以上60歳未満の③基礎疾患などのある人④医療機関・高齢者施設などの従事者——です。

②や接種券が届かない人は、同券の発行申請が必要です。申請方法や対象となる基礎疾患などは市ホームページ(二次元コードから読み取り可)で確認を。



接種予約は、市新型コロナウイルスコールセンター(3回目接種と①はインターネットも可)へ。

### ■旧博物館でワクチン接種を実施

市は、旧博物館(市役所東側)で3・4回目の集団接種を行っています。接種には接種券と本人確認書類が必要です。

【日程】▷8月15日までの毎日▷19～27日の金・土曜▷9月2～23日の金曜。いずれも午前9時15分～11時半、午後1時45分～4時

【対象】接種券を持つ18歳以上  
【接種予約】▷3回目=予約なし(1日のワクチン数に限りがあるため予約をお勧めします)▷4回目=要予約  
モデルナ社ワクチンを使用します。

市新型コロナウイルス接種推進班 ☎764-5870

### いたみびょういん便り

#### がん看護専門看護師

山下 加奈



活を送ることができたりするよう支援を行う外来です。

専門看護師や認定看護師が行っている看護外来を知っていますか。

看護外来とは、専門的な知識・技術を持つ看護師が医師や多職種と連携し、病気を抱えながら生活している患者や家族に対して、相談を受けたり安心して療養生活や社会生活を送ることができたりするよう支援を行う外来です。

市立伊丹病院には▽心不全▽慢性呼吸器疾患▽ストーマ▽手術前▽がん——の分野の看護外来があります。

予約制ですが、同院に通院中であれば受診できますので、ぜひ看護外来を活用してください。